

不滅の法灯

中尊寺の本堂にある釈迦如来坐像の両側には、不滅の法灯が立っています。中尊寺では毎朝、この不滅の法灯から祭壇にあるろうソクに火が灯されます。

滋賀県の比叡山にある日本の天台宗の総本山、延暦寺の元火が 1958 年に中尊寺に分燈されたものです。もともとこの炎は、日本で天台宗を設立した伝教大師最澄（767-822 年）が灯したもので、1200 年以上も燃え続けています。

現在、中尊寺は、神聖な火が灯った「不滅の法灯」をもつ、東北地方で 2 つの寺院のうちの一寺となっています。